

ストップ！消費者トラブル ③⑧

失業し、支払いが困難になった！

【相談内容】インターネット通販を利用して洋服などを購入し、クレジットカードで支払っていたが、現在求職中のため、支払いが滞っている。

他に車のローンや銀行のカードローンの返済も抱えている。仕事もなかなか見つからないので、借金の整理をしたい。 (30代男性)

【助言】借金（債務）の総額を把握し、自分の収入や財産と比較して、債務整理の方法を検討します。債務を整理する手続きには「任意整理」「特定調停」「個人再生」「自己破産」の4つの方法があります。

「任意整理」は、債権者と直接交渉して返済を決める方法です。「特定調停」は、簡易裁判所で調停委員が双方の意見を聞きながら、返済の金額や方法について合意に導きます。「個人再生」は原則3年、最長でも5年の間に、すべての債権者に平等に返済していく地方裁判所の手続きで、裁判所に出した計画通りに返済すれば、残りの債務

が免除されます。返済を継続できる収入がある場合に適している方法です。「自己破産」は、財産（生命保険、不動産、車など）の全てを返済に充て、残る借金（債務）を免除してもらう地方裁判所の手続きです。

どの方法も法律的な知識や交渉力が必要なので、弁護士に相談することをおすすめします。ご希望があれば、茨城県弁護士会の多重債務協力弁護士を紹介します。弁護士費用の支払いが困難なときは、法テラスの民事法律扶助制度（無料相談、弁護士等の費用立て替え制度）の利用が可能な場合もありますので、相談してください。

問合せ 消費生活センター TEL 26-0069

IP 050-5528-4916 月～土曜日：午前9時30分～午後5時30分（土曜日は午後4時30分まで） 休所日：日曜日・祝日・毎月最終月曜日・年末年始 *来所の際は事前にご連絡をお願いします。

* 次回の「ストップ！消費者トラブル」は2月20日号に掲載予定です。

青少年のたくましい成長のために ②

【日立市青少年育成推進会議】

地域活動部会と家庭教育部会の具体的な取組を紹介します。

【地域活動部会】

1 地域活動研究会の開催

昨年、地域の青少年育成活動の報告や意見交換を行う地域活動研究会を開催し、十王地区、中小路・大久保・大沼



地域活動部会の様子

学区のほか、日立ヤングリーダーズクラブが事例発表を行いました。今年の事例発表は、滑川・助川・河原子・水木学区を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から中止となりました。

2 ワークショップの開催

地域活動研究会終了後、「地域で取り組む他団体との連携、協力」をテーマに、各地域・団体が行っている他団体と連携した取組や今後、取り組んでみたいことなどについてワークショップを行いました。情報共有や意見交換を

通して得た情報やアイデアを各地域・団体に持ち帰り、青少年育成活動のさらなる推進につなげています。

【家庭教育部会】

各地域が開催する「親子教室」の研修として、子どもが喜ぶ工作などの研修会の開催や、子育て支援啓発冊子「それでいいよ だいじょうぶ」を、母子手帳交付時に配布することで子育ての不安や悩みを和らげるための取り組みを行っています。

「親子教室」では、親子の交流を図ることを目的として、未就学児と親を対象に、各地域で工作や絵本の読み聞かせなどを行っています。「親子教室」に参加を希望する方は、お住まいの地域の交流センターへお問い合わせください。子育て支援啓発冊子



子育て支援啓発冊子

問合せ 日立市青少年育成推進会議事務局（女性若者支援課内 TEL 26-0315）

* 次回の「青少年のたくましい成長のために」は11月20日号に掲載予定です。

8/10 屋外でアニメ映画会を開催

3密を避け、子どもたちに目新しい体験を

新型コロナウイルス感染症の影響でイベントの中止が相次ぐ中、屋外にスクリーンを設置し、映画を楽しむ「夏休み親子映画会」が多賀市民プラザで開催されました。夏休みが短縮され、外出もままならない子どもたちにたくさん笑ってほしいと日立市民科学文化財団と市視聴覚センターが企画。小学生や幼児の親子約80人が参加し、「屋外で映画を見るのは初めて。夏の思い出になる。」と笑顔を見せました。



9/10 給食に常陸牛や奥久慈しゃもを活用

県内の畜産農家を支援

新型コロナウイルス感染症の影響で売り上げが減少した県内の畜産農家を支援するために県畜産課から無償で提供された常陸牛や奥久慈しゃもを使った給食が市立小・中学校と特別支援学校で提供されています。

この日のメニューは、常陸牛スタミナ丼。生徒たちは「いつもの肉よりまろやかな味でおいしかった。これからも楽しみ」と笑顔を見せました。11月まで毎月調理法を変えながら提供される予定です。



8/29 折笠ぶどう部会がぶどうの出来栄を報告

糖度の高いぶどうができました

折笠地区では昭和46年からぶどうの栽培を行っており、現在は5軒の農家がシャインマスカットや巨峰など約40種類のぶどうを栽培しています。

大都誠司部会長から「今年の夏は雨や猛暑など厳しい天候でしたが、糖度の高いぶどうができました」と報告を受けると、小川市長は「手塩にかけて作ったぶどうを広く味わってもらい、苦労を実らせてほしい」と話しました。



9/11 敬老の日を前に長寿をお祝い

市内最高齢おめでとうございます

市で今年度中に100歳を迎える方は50人、101歳以上になる方は99人います(8月1日時点)。敬老の日を前に、小川市長が市内の最高齢となる根本和子さんを訪問し、長寿をお祝しました。

長寿の秘訣を聞かれた根本さんは「子どもの頃から体が丈夫」と笑顔で話し、小川市長は「根本さんにお会いして元気をいただきました。いつまでもお元気でいてください」と長寿を祝いました。



8/29 市役所庁舎ライトアップ

日立市を希望で照らそう

新型コロナウイルス感染症の影響でイベントが取りやめになる中、まちを元気づけようと、日立青年会議所が、市役所庁舎を7色の光で浮かび上がらせる「ひたちライトアップ」を企画。鈴木将嗣理事長が「この夏の思い出の一つとして心に留め、少しでも前向きな気持ちになってほしい」と挨拶をし、小川市長が「海水浴場を開設しないなど閉塞感がある夏だったが、ライトアップが市民に希望をもたらす」と話しました。



9/17 赤羽緑地公園駐車場付近の美化活動

久慈の街並みと常磐線を一望できる景観を目指して

市では、地域のボランティア団体と協力し、公園の景観などを守る取り組みを行っています。

赤羽緑地公園では、地域住民で構成された赤羽緑地を守る会が敷地内の美化活動を行っており、この日は、JR水戸保線技術センターなどの協力のもとに整備活動を行いました。土を整えたり、雑草を生えにくくするクラピアや芝桜の植え込みが行われ、参加者は真剣な表情で土壌づくりを行いました。

